

スタッフ便り

「京」の100倍の演算性能持つスーパーコンピュータを開発する旨、3月末に理研より発表がありました。計算機はいったいどこまで速くなるのでしょうか。

さて、当センターのスーパーコンピュータシステムは、規模は小さいものの、見学者の多くがその大きさに圧倒されます。昭和の流行語に「大きいことはいいことだ」というのがありますが、計算機は同じ性能なら小さければ小さいほど良いというのを、すっかり忘れてしまいそうです。電気信号は光速を越えられないので、数GHzで動作しているCPUから見ると、数十cmほど先にあるメモリまでデータを取りに行くだけでも、演算回数の大きなロスになります。そこで、大規模なシステムでは演算の局所性が重要になるわけですが、このことは、高速に解ける問題に制約があることを意味します。昔のプログラムをそのまま新しい計算機に乗せても、性能が出ないことが多々あります。CPUやネットワークの高速化ばかりでは不十分で、問題の解法をいかに工夫して計算機に乗せるか……この辺が、利用者とセンター職員の腕の見せどころです。

スーパーコンピュータの更新時期が近づいてきましたが、新しい建物で新システムが稼働する日が、とても楽しみです。[後藤英昭]

青葉山キャンパス、新キャンパスの建築もいよいよ本格化してきました。これまで仮設の建物で苦労されていた方々は一日も早い完成を待っていることでしょう。環境が整い、さらに東北大学の研究・教育の発展が加速することが楽しみです。

しかし、その一方で青葉山キャンパス全体での駐車場の問題も気になるところです。

CO₂を排出する、限りある化石燃料を消費する等、悪者にされがちな車ですが、通勤の時間が短縮できる、荷物を運ぶのに便利、体力的に楽、安全、みんなが車を購入・維持することで日本の経済に貢献する、等々メリットも大きいと思います。いずれも場合によって逆に短所になることもあるかもしれませんが、多くの教職員や学生が車で通勤・通学しているという事実はやはり代えがたいメリットがあるからではないでしょうか。とは言え、駐車場の土地、整備費用という大きな問題もありますし難しいですね。みんなで知恵（やお金）を出しあって解決できるといいのですが…。あるいは地下鉄東西線の開通によって無事解決して杞憂になるといいですね。[N. M]

サイバーサイエンスセンター・情報部情報基盤課スタッフ 新規採用・退職者のお知らせ

[新規採用]

2014. 4. 1 齋藤敦子（共同研究支援係・技術一般職員）
2014. 4. 1 和泉 諭（情報通信基盤研究部・産学官連携研究員）
2014. 4. 1 堀野 碧（情報通信基盤研究部・事務補佐員）

[退職]

2014. 3. 31 澤田宏史（CSI 研究室・産学官連携研究員）

SENAC 編集部会

小林広明 曾根秀昭 水木敬明 後藤英昭
江川隆輔 佐藤恵美子 大泉健治 小野 敏
斉藤くみ子



サイバーサイエンスセンター本館前
整備中の青葉山新キャンパス

平成 26 年 4 月発行

編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
郵便番号 980-8578
印刷 東北大学生協同組合
プリントコープ